

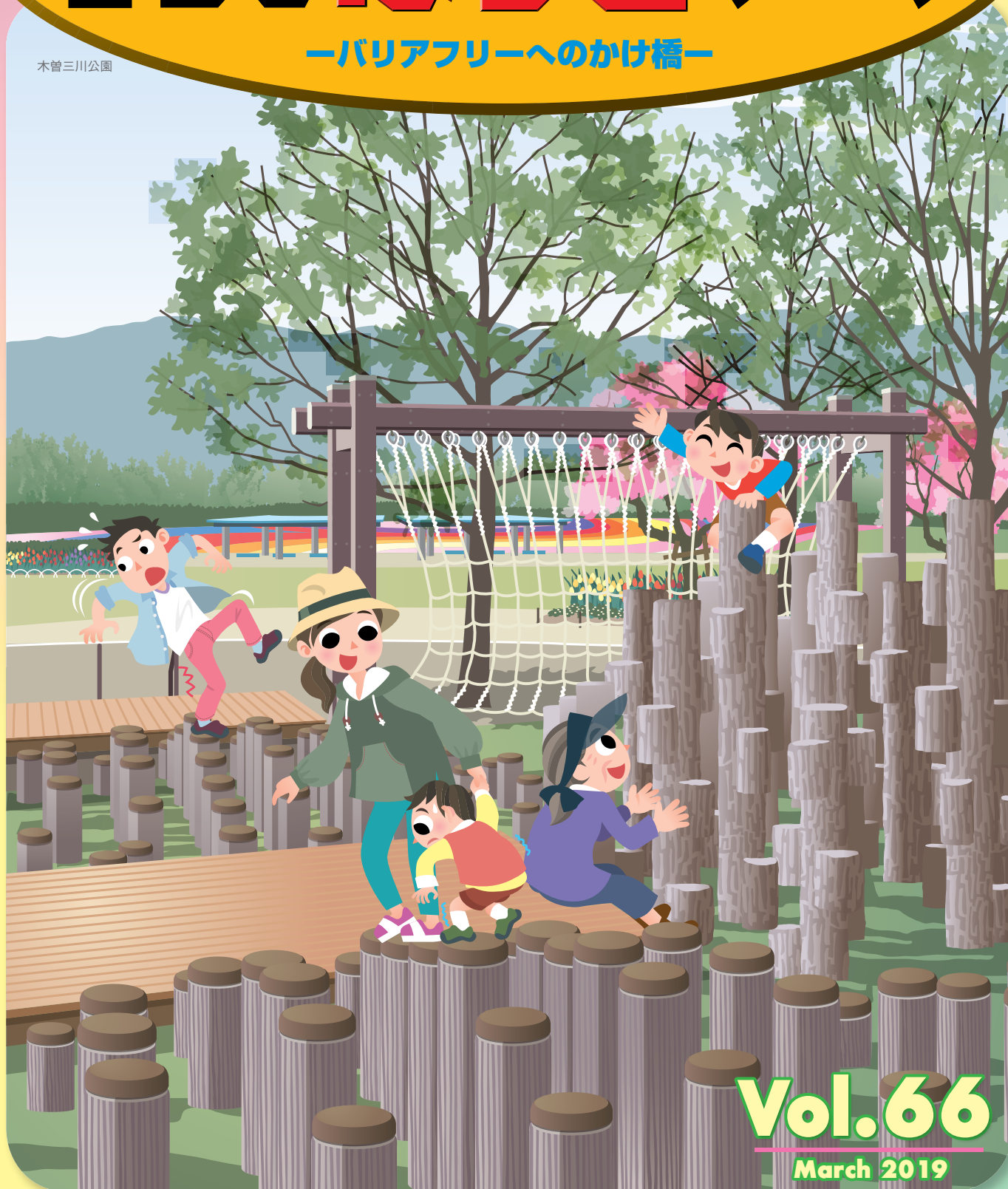


何かと出会って 新たな発見

暮らしほつとワーク

ーバリアフリーへのかけ橋ー

木曽三川公園



Vol.66

March 2019

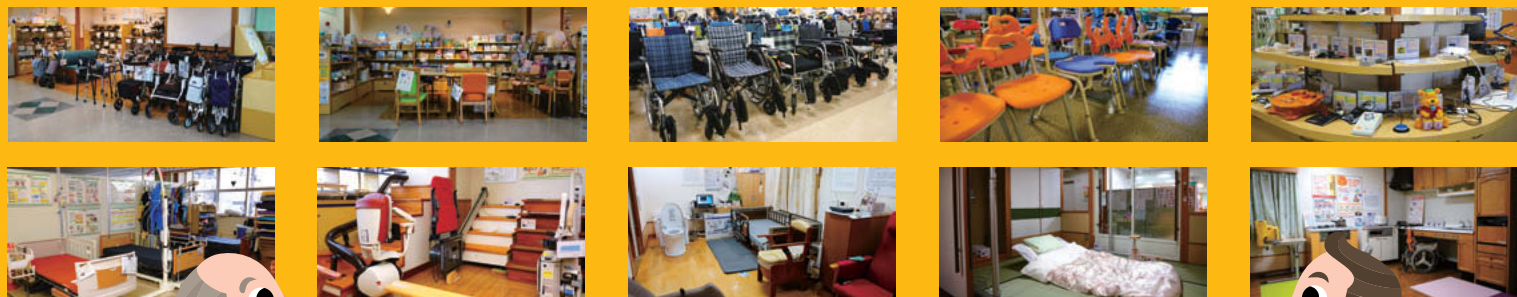
今号の CONTENTS もくじ

プラザお困り解決ノート… P2～4

- 「スライディングシートを使った介助」
- 製作改造事例
「これまでと同じようにパソコンを操作したい」

福祉用具常設展示品が検索できます! … P5

- あい・なごや介護ロボットフォーラム2018開催… P6～7
- 一般の方向け 2019年前期(5月～9月)
- なごや福祉用具プラザ主催「家族介護者教室」… P8



なごや福祉用具プラザでは、ご利用者の皆様からさまざまなご相談をいただいております。このページでは毎回、比較的に多いご相談事例を紹介します。読者の皆さんの参考にしていただくのはもちろん、「こんな事も相談していいんだ」と気軽な気持ちでプラザにお越しいただければと思います。



「ベッド上での上方や横方向への移動介助が大変」

スライディングシートを使って動作をお手伝い



ベッド上の移動介助は、介助者に大きな負担となり、腰痛の原因となる場合が数多くあります。また、人力のみの力任せな介助は利用する方にも体的な負担になり、床ずれ（褥瘡）や関節の可動域が制限されてしまう拘縮など、二次障害の原因にもなりかねません。「持ち上げる、引きずる、抱え上げる」そうした人力のみの力任せな介助は、介助者、利用者の双方に大きな負担となります。利用者の体の動きに合わせて適切な用具を選択することが基本です。

今回は「ベッド上での移動ができない利用者を介助する際に生じる体の圧迫などを軽減し、かつ介助者の負担も軽くできないか」というご相談を事例に、多くの方に利用いただけるスライディングシートを使った移動方法をご紹介します。

シートの種類



■一枚シートタイプ

二重にして使い、多方向へ滑らせることができます。ウィズ『トランスファーシートフラット』、Spilerdug『スピラドゥ』等



■ループ（筒状）タイプ

一方方向に滑らせることがやりやすいです。モリト『移座えもんシート BLACK』、東レ『トレイジー』等

シュルシュルっと滑って移動を楽にする道具

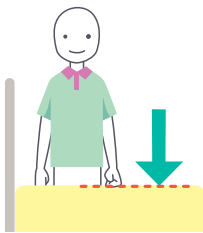
「スライディングシートを使った介助」

食事、着替え、入浴、排泄など、さまざまな場面で必要なのが移動です。骨格や筋肉、関節の関係を利用することが基本ですが、スライディングシートを使うことで、さらに余分な力を使わず、また、利用者にも負担をかけず安全に移乗することができます。



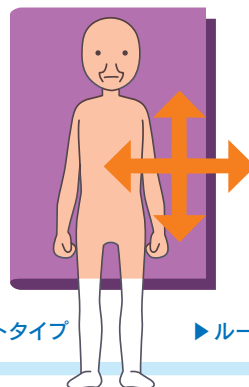
① ベッドの手すりを取り外し、高さを調節して介助者に負担がかからないようにします

自然に腕をおろし、こぶしの高さになるようベッドの高さを調整します。ベッドの周り、足下の履き物などもかたづけましょう。

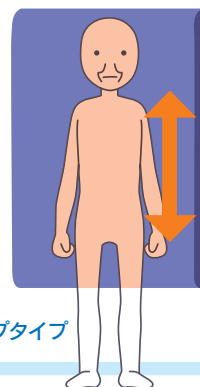


② スライディングシートを敷く場所を確認します

スライディングシートは、重さのかかるところ（頭・胸部・お尻）の下に敷きます。一枚シートタイプのスライディングシートは半分以上に折りたたみます。ループタイプの場合は、動かしたい方向に合わせます。



▶一枚シートタイプ

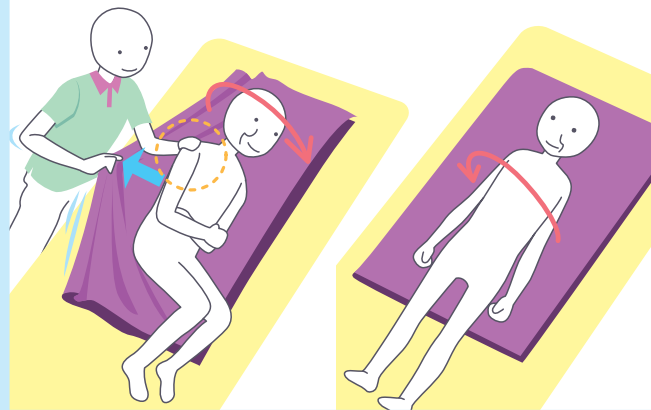


▶ループタイプ

③ シートを利用者の体の横に置き、横向き（側臥位）になってもらい、シートを体の下に差し込み、上向き（側臥位）になります



④ 体の下に差し込んだスライディングシートを引き出せば敷き込みの完成です



⑤ スライディングシートの特性を活用して移動させます

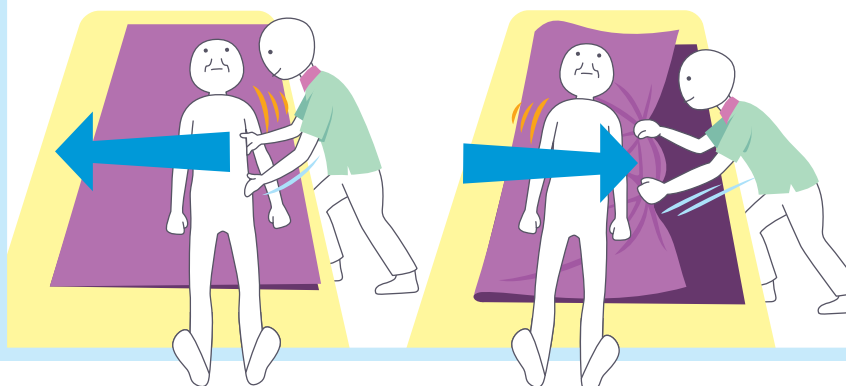


ベッドの横方向へ移動

重さのかかるところ（胸部・お尻）を平行に押す、もしくは体近くの下側を持って引きます。体全体を使って動かすと、腰への負担を減らし、安全で楽に移動ができます。

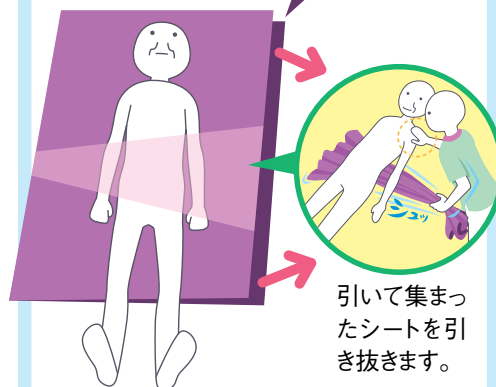
ベッドの上方向へ移動

足に力が入る場合は起点を押さえて介助します。



⑥ スライディングシートを抜き取ります

2枚になっている下側を持ち、対角線上に引きます。



引いて集まったシートを引き抜きます。



「これまでと同じようにパソコンを操作したい」 自助具製作



筋ジストロフィーの男性から、文字入力やパソコン操作に使っていた周辺機器（一般市販品、タッチセンサ付きマウスキーボード）が廃盤で手に入らなくなり、今使っているものも先日壊れてしまった。何とかこれまでと同じようにパソコンを操作してWebページを閲覧したり、メールのやりとりを継続したいと相談がありました。訪問してご本人の動作を確認したところ、口にマウススティック（直径4mm、長さ200mmほどの割り箸、先端に滑り止めゴム）をくわえて操作しており、スイッチを押す方法でマウスの操作ができそうであることがわかりました。そこで、マウススティックでスイッチを押し、カーソルを動かすことのできる本人専用のマウスを製作することにしました。

本人の可能な動作で操作できる、専用のマウスを製作

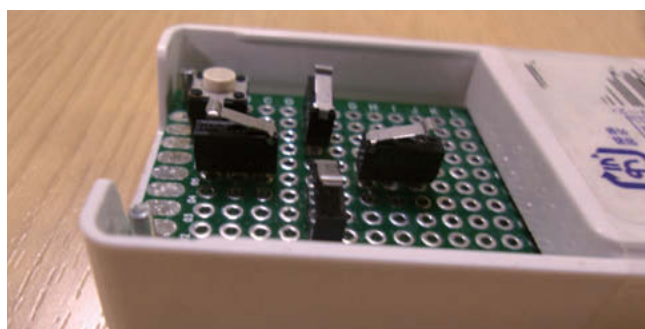
材料リスト

● プリント基板 30×70mm	1枚
● REVIVE USB	1台
● レバースイッチ	4個
● 押しボタンスイッチ	1個
● 結線	適量

材料費は5,700円程度

作り方

基板の表へ上下左右4方向にレバースイッチを並べ、すぐそばにマウス左クリック用の押しボタンスイッチを配置して裏からハンダ付けします。各スイッチの結線をREVIVE USBの端子につなぎ、ハンダ付けします。それらをお菓子のケースに収納します。



工夫した点と使い方

REVIVE USBは、オリジナルUSB入力デバイスを作るための小型モジュールで専用ソフトウェア（簡単設定ツール）によってマウスカーソルの方向や速度を割り付け可能なものです。本人はマウススティックを動かせる範囲（可動域）が狭いので、縦横30mm以内にレバースイッチ4個と押しボタンスイッチ1個を配置し、それを押す力は軽いものを選択しました。本人はベッドに横向きの姿勢（側臥位）で、口にマウススティックをくわえて専用マウスを操作します。また文字入力はパソコンのスクリーンキーボードを使つての代替で可能となりました。

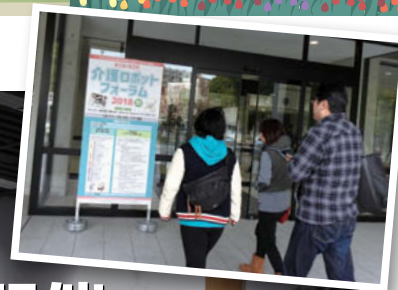




用具名や、
分類から
検索できます

イベントレポート

あいち・なごや 介護ロボットフォーラム2018 開催



主催者である名古屋市総合リハビリテーション事業団 副理事長 山田茂夫の挨拶から始まりました



なごや福祉用具プラザは、取り組みのひとつであるロボットスーツの導入について報告しました

2018年12月11日、名古屋工業大学 NiTech Hall (ナイテックホール) にて、名古屋市総合リハビリテーション事業団主催、厚生労働省事業「あいち・なごや介護ロボットフォーラム2018」を開催しました。介護ロボットの普及、啓発を推進する取り組みとして、愛知県、名古屋市、名古屋市老人福祉施設協議会、県理学療法士会、

県作業療法士会など、たくさんの関係機関、行政、職能・学術機関の後援をいただき、介護ロボットを創る人、使う人、最新技術に関心のある人、そして27社35種類の介護ロボットが一堂に会することとなりました。また、介護現場に関わる方のほか、一般の方にも無料公開され、ロボット開発メーカーや開発機関のブース

も併設、実際にロボットに触れてみたい、開発者から説明を受けることもでき、会場には多くの来場者が詰めかけました。そして当日は、テレビ・新聞などメディアの取材も行われ、注目度の高いイベントとなりました。

シンポジウムに先立って、出展メーカーからのプレゼンテーションが行われました。それぞれ10分ほどで十



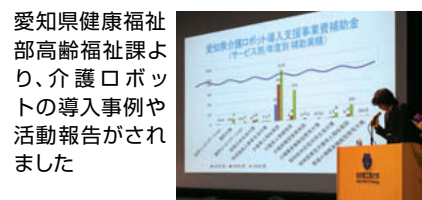
パネルディスカッションでは、パネリストによる意見交換の他、参加者からの質疑応答も行われました

パネリスト(左より)

- 国立大学法人 名古屋工業大学 教授／佐野明人氏
- (公財)テクノエイド協会 企画部 部長／五島清国氏
- (福) なごや福祉施設協会 特別養護老人ホームなごやかハウス滝ノ水 ケア統括長／濱田 信氏
- CYBERDYNE (株)・パーソナルケアサポート (株) 取締役／高津佐正太氏
- (福) 名古屋市総合リハビリテーション事業団 なごや福祉用具プラザ／長束晶夫



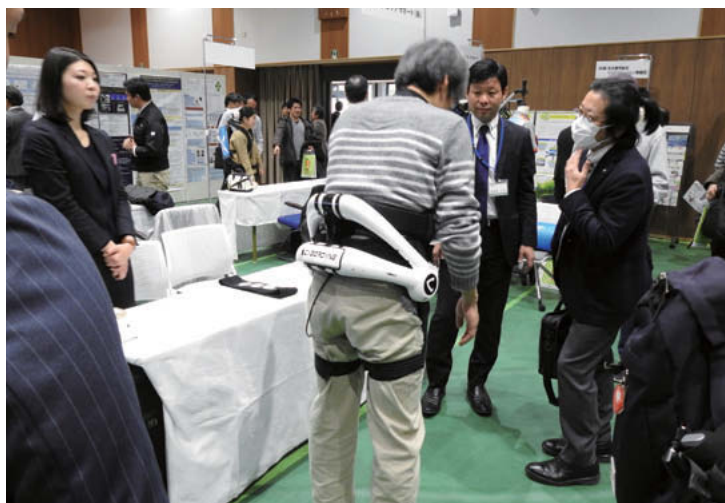
なごや福祉用具プラザは、昨年度実施したロボットスーツや、見守りセンサーなどのロボット普及事業について、パネルで展示しました



出展メーカーのプレゼンテーションでは、開発機器の紹介と解説が行われました



介護ロボットの展示は、ロボットを体験できる貴重な機会となり、多くの人が実際にロボットスーツを装着してみたり、機器の説明を受けるなど、大盛況となりました



分な時間ではありませんでしたが、各社の開発の意図や機能のポイントなどが簡潔に示され、多くの来場者が熱心に聞き入っていました。

シンポジウムでは、厚生労働省 老健局高齢者支援課、愛知県健康福祉部高齢福祉課の講演に続き、事業成果・活動報告として介護ロボットの導入事例や活動報告が行われました。なごや福祉用具プラザの取り組みとして、特別養護老人ホームで行われているCYBERDYNE(株)ロボットスーツ

HAL腰タイプの導入の取り組みについて報告しました。

パネルディスカッションでは、名古屋工業大学佐野明人教授がモデレーターとなり、意見交換が行われました。パネラーからは、「名古屋市総合リハビリテーション事業団、なごや福祉用具プラザには、現場とメーカーをつなぐハブとしての機能を果たし、これまで蓄積してきた介護ロボット普及のノウハウを、わかりやすい形で発信、ロボットの導入、普及に努め

て欲しい」と、期待が寄せられました。また、地域社会とのつながりも深め、地域の拠点としての役割をより果たせるようにと提言をいただき、介護ロボット業界のあるべき姿を示唆いただきました。

今後とも、名古屋市総合リハビリテーション事業団(なごや福祉用具プラザ)は、介護ロボットの適切で効果的な導入と利活用の促進に取り組んでいきます。



一般の方向け 2019年前期 (5月～9月)

なごや福祉用具プラザ主催 【家族介護者教室】

- この内容は2019年3月中旬現在のものです。日程や講座内容が都合により変更になる場合があります。
- 講座の時間は、いずれも13時30分～15時00分です。(15時30分まで希望者のみ介護の個別相談会あり)
- 受付は先着順です。●持ち物：筆記用具
- 服装：活動しやすい服装 ※一部体験を含む内容があります。

参加は
無料
です!

楽しく介護のすすめ ～心と体の健康講座～

介護に関心のある方ならどなたでも参加できます。

“楽しく介護”とは何か「知って」「体験して」みましょう。

ご希望の方には講座終了後に個別相談会を開催します。

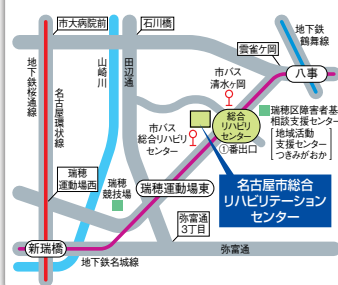
受講したい講座、ご都合の良い日時に合わせて申し込みできます。
お問い合わせ・お申し込みは、なごや福祉用具プラザまで。

名古屋市総合リハビリテーション事業団
マスコットキャラクター「リはみん」



南部介護者教室

会場：名古屋市総合リハビリテーションセンター 4階大研修室
瑞穂区弥富町字密相山 1-2



テーマ 家族のための介護技術

- 5月15日(木) ※初回のみ水曜日開催となります
ベッドからの起き上がり、椅子への移乗
- 5月23日(木)
らくらく外出術
～車椅子操作と移乗の基本を学ぼう～
- 6月 5日(木)
杖、歩行器等の選び方・使い方
- 6月12日(木)
快適に着替える・身だしなみを整える

受付開始 4月16日(火) 定員20名

東部介護者教室

会場：名古屋市障害者スポーツセンター 2階会議室
名東区勢子坊 2-1501



テーマ 介護の準備学

- 6月 6日(木)
高齢者施設の選び方～安心できる入居探し～
- 6月13日(木)
ご存知ですか? 介護保険申請のタイミング
- 6月20日(木)
アロマセラピーでハンドマッサージ
～心と身体のケア～
- 6月27日(木)
介護の費用と年金
～老後と遺族の年金って?～

受付開始 5月14日(火) 定員40名

北部介護者教室

会場：名古屋市総合社会福祉会館 7階東西研修室
北区清水 4-17-1 北区総合庁舎内



テーマ 中高年から気をつけたい体のこと

- 6月 8日(土)
知っておきたい、
高齢者に多い病気とその対応
- 6月15日(土)
聞こえのお悩み、つきあい方あれこれ
- 7月 6日(土)
高齢者に多い誤嚥性肺炎～誤嚥防止法～
- 7月13日(土)
足ゆびストレッチ&筋トレ
～生涯自分の足で歩くために～

受付開始 5月14日(火) 定員40名

西部介護者教室

会場：中川区役所 講堂
中川区高畑 1-223



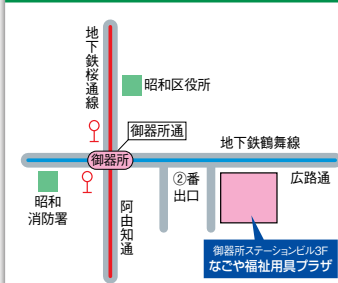
テーマ 介護者も知っておきたい介護予防

- 7月4日(木) ※初回のみ水曜日開催となります
生きることは食べること
～元気なお口は健康の源～
- 7月 9日(火)
地域でできる介護予防
- 7月30日(火)
食べて学ぶ! 食べやすい食事と簡単調理
- 8月 6日(火)
呼吸と姿勢を見直そう

受付開始 6月13日(木) 定員40名

中部介護者教室

会場：なごや福祉用具プラザ
昭和区御器所通 3-12-1 御器所ステーションビル3階



テーマ 排泄よろず相談

- 8月23日(金)
排泄をスムーズに～健康体操～
- 8月30日(金)
排泄動作と介助方法
- 9月 6日(金)
オムツとスキンケア
- 9月13日(金)
排泄道具とトイレの環境

受付開始 7月17日(水) 定員30名



社会福祉法人 名古屋市総合リハビリテーション事業団

なごや福祉用具プラザ

〒466-0015
名古屋市昭和区御器所通
3丁目12-1
御器所ステーションビル3F
TEL (052) 851-0051
FAX (052) 851-0056

- 営業時間/
AM10:00～PM6:00
- 営業日/火曜日～日曜日
- 休業日/
月曜日・祝休日・年末年始
(月曜日が、祝日にあたる日は翌日も休みになります)

●ホームページ <http://www.nagoya-rehab.or.jp> ●電子メール n-plaza@nagoya-rehab.or.jp



暮らしほっとワーク第66号 発行日/平成31年3月15日
編集・発行/なごや福祉用具プラザ

この広報誌は再生紙(古紙
パルプ配合率100%、白色
度83%)を使用しています

